

論文執筆

筆頭著者	タイトル	雑誌名
上内哲男	骨粗鬆症と転倒予防-多職種連携から地域包括連携-	日本骨粗鬆症学会誌11巻2号 2025 p128-130
篠原直孝	整形外科病棟の転倒・転落予防と対策〈第1章 総論〉2. 内的要因	整形外科看護2025年5月号 2025 p21-26
篠原直孝	整形外科病棟の転倒・転落予防と対策〈第2章 整形外科病棟における転倒・転落の原因となりうる疾患〉5.脊椎疾患	整形外科看護2025年5月号 2025 p34-37
篠原直孝	整形外科病棟の転倒・転落予防と対策〈第2章 整形外科病棟における転倒・転落の原因となりうる疾患〉6.下肢の外傷・変性疾患	整形外科看護2025年5月号 2025 p38-40

学会発表

主演者姓名	題目	学会名
鈴木佳樹	歩行非自立の回復期脳卒中者における入棟後1か月での身体活動量変化と退院時自立歩行可否との関連	第23回日本神経理学療法学会 学術大会 2025年10月 石川
今井玲華	回復期脳卒中者における入棟後1週間の身体活動量が自立歩行獲得までの期間に及ぼす影響	第23回日本神経理学療法学会 学術大会 2025年10月 石川
上内哲男	就職希望者に当院を選んでもらうためにできること-HPリニューアルとInstagram開設-	第10回JCHO地域医療総合医学会. 2025年11月 神奈川
星野 裕	アンケート調査による当院リハビリテーション室勉強会の改善案～満足度向上と負担軽減に向けた取り組み	第10回JCHO地域医療総合医学会. 2025年11月 神奈川
加藤俊久	当院における小児集中リハビリテーションの実践と今後の課題	第10回JCHO地域医療総合医学会. 2025年11月 神奈川
伊東眞歩	回復期脳卒中者における Cognitive Functional Independence Measure と退院時歩行自立度との関連	第10回JCHO地域医療総合医学会. 2025年11月 神奈川
青木教真	回復期脳卒中者における入棟時 Cognitive Functional Independence Measure と自立歩行獲得までの期間との関連	第10回JCHO地域医療総合医学会. 2025年11月 神奈川
鈴木佳樹	荷重位の足関節背屈可動域測定法の検討	第50回日本足の外科学会学術 集会 2025年11月 長野

山口拓海	短腓骨筋を選択的に賦活する足関節肢位の検討	第50回日本足の外科学会学術集会 2025年11月 長野
小山田千尋	荷重下での足関節可動域測定法と母趾壁距離の比較検討	第50回日本足の外科学会学術集会 2025年11月 長野
小山田千尋	足部疾患患者に対するI WARK freeの使用-筋厚・筋輝度の経時的変化-	第4回日本老年療法学会学術集会 2025年12月 東京
今井玲華	退院後の生活を見据えた装具選定により屋外歩行自立に至った右被殻出血の一症例	第4回日本老年療法学会学術集会 2025年12月 東京

著書

著者	題目	書籍名
上内哲男	第3章 転んでもケガをしない街”ころころシティ” IDEA 14.安心して利用できるトイレ	医療・ケア職のための未来型 転倒対策ノート-もしも転倒のない世界があったら- Gakken 2025 p60-61

講演

講演者	講演題目	学会名
土屋研人	円背と転倒予防	新宿区主催 しんじゅく100 トレグループ支援 2025年1 月 東京
上内哲男	病院内での転倒予防～リハビリテーション専門職の立場から～	第12回日本転倒予防学会学術 集会 地域包括連携リレー講 演 1 病院における転倒予防. 2025年10月 群馬
加藤俊久	100トレを日常生活に落とし込む～転倒予防のコツ～	新宿区主催 しんじゅく100 トレ体力測定会 2025年9月 東京
加藤俊久	100トレを日常生活に落とし込む～転倒予防のコツ～	新宿区主催 しんじゅく100 トレグループ支援 2025年9 月 東京